

農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 1 項の規定に基づき、公表します。

金沢市長 村山 卓

市町村名 (市町村コード)	金沢市 ( 201 )
地域名 (地域内農業集落名)	三谷地区 (正部、鳴瀬元、宮野、高坂、古屋谷、車)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 5 年 1 2 月 2 4 日 (第 1 回)

注 1 : 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注 2 : 「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・ 農業従事者の減少、高齢化のため、受け手の確保が必要
- ・ 後継者不足のため、新たな担い手の育成が必要
- ・ 水田の区画が小さく作業効率が悪いいため、大区画化等のほ場整備を希望

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・ 計画的な高収益作物（ブロッコリー、カボチャ等）の導入を検討
- ・ 徐々に高収益作物を拡大し、当該地域における農業経営を安定化

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	75.8 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	75.8 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	0.0 ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

対象地域内の農振農用地区域及びその周辺の農地を、農業上の利用が行われる農用地等の区域とする

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理機構を活用し、新たな担い手への農地斡旋</li> <li>・地域ぐるみによる農業生産施設（農道、水路等）の維持、管理</li> </ul>
(2) 農地中間管理機構の活用方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな集落営農への集積</li> <li>・集約化にあたっては、農地中間管理機構を活用して貸付</li> </ul>
(3) 基盤整備事業への取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほ場整備を行い、水田を大区画化・汎用化</li> <li>・ほ場整備後は、集落営農（法人）に集積・集約化</li> </ul>
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農（法人）を立ち上げ、地域の新たな担い手として育成</li> <li>・金沢農業大学校修了生等の新規就農希望者を受け入れ、地域の担い手として確保・育成</li> </ul>
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空防除について、金沢市農業協同組合へ作業委託</li> </ul>

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①イノシシ等による鳥獣被害を防止するため、防護柵設置、緩衝帯設置、有害鳥獣捕獲等の対策を実施
- ③ほ場整備にあわせて、農業用水管理システムを導入し、水管理を適正化・省力化
- ⑦日本型直接支払制度を活用し、地域資源（農地、水路、農道等）を保全・向上
- ⑧集落営農（法人）において育苗用パイプハウス及び乾燥調製施設を導入し、作業の合理化・安定化